



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日  
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所  
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,260	11.4	1,051	191.5	1,048	154.9	663	209.5
29年3月期第3四半期	7,416	△32.5	360	△80.5	411	△77.9	214	△82.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 998百万円( —%) 29年3月期第3四半期 32百万円(△96.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.34	—
29年3月期第3四半期	15.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,179	10,487	64.2
29年3月期	16,448	9,838	59.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,392百万円 29年3月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	8.2	1,400	45.8	1,400	46.3	850	55.1	60.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	14,200,000株	29年3月期	14,200,000株
30年3月期3Q	184,574株	29年3月期	184,574株
30年3月期3Q	14,015,426株	29年3月期3Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、企業業績の改善、設備投資や所得・雇用環境の改善が続き緩やかな回復基調にあります。地政学リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第3四半期連結累計期間において、増加傾向で推移しております。また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した研究開発分野への設備投資が集中しております。

このような状況のもと、当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内はもとより韓国・中国をはじめとするアジアを中心に積極的に展開いたしました。当第3四半期連結累計期間につきましては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカーからの電気サーボモータ式振動試験機を中心に受注を獲得いたしました。

売上高につきましては、東南アジア向けタイヤ関連試験機の出荷・検収が減少しましたが、中国向けのタイヤ関連試験機などのバランスングマシンの出荷・検収が増加し、前年同四半期と比較して増加しております。

利益面につきましては、売上総利益が増加したことから、前年同四半期と比較して増加しております。

受注高	90億5千6百万円	(前年同四半期比4.6%増)
売上高	82億6千万円	(前年同四半期比11.4%増)
営業利益	10億5千1百万円	(前年同四半期比191.5%増)
経常利益	10億4千8百万円	(前年同四半期比154.9%増)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6億6千3百万円	(前年同四半期比209.5%増)

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

アジア向けの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少したものの、アジア・中国向けバランスングマシン及び国内・中国向けのタイヤ関連試験機の出荷・検収が増加したことにより、全体として出荷・検収は増加いたしました。また、増収により売上総利益が増加したことや、子会社からの受取配当金が増加したことにより増益となりました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	61億1千3百万円	（前年同四半期比7.5%増）
経常利益	12億5百万円	（前年同四半期比160.8%増）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境・強度試験装置などの受注が増加し、材料試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	4億5千8百万円	（前年同四半期比95.0%増）
経常損失	3千7百万円	（前年同四半期は1億6千2百万円の損失）

〔米国〕

主力製品であるバランスングマシンは、日系の大手自動車メーカーやタイヤメーカーへの出荷及び米国の自動車部品メーカーへの出荷が減少したものの、日系の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	8億1千3百万円	（前年同四半期比2.8%増）
経常損失	3千3百万円	（前年同四半期は4千6百万円の損失）

〔韓国〕

韓国の自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が大幅に減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	13億2千5百万円	（前年同四半期比13.4%減）
経常利益	1億7千9百万円	（前年同四半期比43.6%減）

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷が減少したものの、モータ関連メーカーへのバランスングマシンの出荷や、シャフト歪矯正機の出荷は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	5億5千万円	（前年同四半期比46.0%増）
経常利益	5百万円	（前年同四半期は2千3百万円の損失）

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、108億1千万円（前連結会計年度末比3億6千8百万円減）となりました。これは、売上債権の回収により現金及び預金が増加（前連結会計年度末比3億2千8百万円増）したことや、当第4四半期以降に出荷を予定している仕掛品が増加（前連結会計年度末比2億2千6百万円増）したものの、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比7億6千万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、53億6千8百万円（前連結会計年度末比9千8百万円増）となりました。これは、退任した役員に対する保険積立金を取り崩したことにより保険積立金が減少（前連結会計年度末比1億4千1百万円減）したものの、株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比3億1千6百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、43億6千5百万円（前連結会計年度末比8億5千8百万円減）となりました。これは、仕入の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比1億7千6百万円増）したものの、約定返済により短期借入金が減少（前連結会計年度末比2億9千万円減）したことや、売上の計上により前受金が減少（前連結会計年度末比2億5千9百万円減）したこと並びに法人税等の納付により未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億9千2百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、13億2千6百万円（前連結会計年度末比5千9百万円減）となりました。これは、保有している株式の時価の上昇により繰延税金負債が増加（前連結会計年度末比1億9百万円増）したものの、1年内返済予定の長期借入金に振り替えたことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億1千4百万円減）したことや、退任した役員の退職慰労金を支給したことにより役員退職慰労引当金が減少（前連結会計年度末比5千1百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、104億8千7百万円（前連結会計年度末比6億4千8百万円増）となりました。これは、為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比1億2百万円増）したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比3億1千3百万円増）したこと並びに株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比2億1千9百万円増）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,110,151	4,438,316
受取手形及び売掛金	3,838,853	3,078,402
商品及び製品	320,244	258,939
仕掛品	1,881,064	2,107,904
原材料及び貯蔵品	601,582	550,214
繰延税金資産	200,885	171,317
その他	232,648	214,564
貸倒引当金	△6,507	△8,795
流動資産合計	11,178,922	10,810,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,456,580	2,476,589
機械装置及び運搬具	231,136	234,676
土地	1,308,500	1,310,894
リース資産	3,036	3,036
その他	209,730	235,516
減価償却累計額	△1,439,736	△1,526,791
有形固定資産合計	2,769,248	2,733,921
無形固定資産		
その他	52,641	55,140
無形固定資産合計	52,641	55,140
投資その他の資産		
投資有価証券	360,045	676,387
長期貸付金	11,487	13,808
繰延税金資産	186	197
保険積立金	1,864,280	1,723,199
その他	344,909	266,768
貸倒引当金	△133,338	△101,074
投資その他の資産合計	2,447,571	2,579,286
固定資産合計	5,269,462	5,368,349
資産合計	16,448,384	16,179,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,805,321	1,981,996
短期借入金	1,090,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	354,774	257,167
リース債務	896	—
未払法人税等	314,632	121,991
賞与引当金	124,490	59,369
製品保証引当金	131,267	127,665
前受金	886,909	627,612
その他	515,858	389,942
流動負債合計	5,224,149	4,365,744
固定負債		
長期借入金	763,264	648,337
繰延税金負債	205,539	314,784
役員退職慰労引当金	182,783	131,056
退職給付に係る負債	222,504	220,531
資産除去債務	11,455	11,634
固定負債合計	1,385,546	1,326,343
負債合計	6,609,696	5,692,088
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	7,612,986	7,926,163
自己株式	△150,994	△150,994
株主資本合計	9,421,491	9,734,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,949	430,364
為替換算調整勘定	125,307	227,537
その他の包括利益累計額合計	336,256	657,901
非支配株主持分	80,940	94,555
純資産合計	9,838,688	10,487,125
負債純資産合計	16,448,384	16,179,213

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,416,068	8,260,592
売上原価	4,933,907	5,291,091
売上総利益	2,482,160	2,969,501
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	88,755	68,871
役員報酬	148,400	121,932
給料手当及び賞与	567,413	554,993
賞与引当金繰入額	26,525	24,918
退職給付費用	20,537	17,921
役員退職慰労引当金繰入額	7,560	6,627
運賃	189,475	198,896
減価償却費	27,355	24,915
研究開発費	57,020	24,342
その他	988,454	874,671
販売費及び一般管理費合計	2,121,498	1,918,091
営業利益	360,662	1,051,410
営業外収益		
受取利息及び配当金	37,867	29,461
為替差益	14,279	11,875
貸倒引当金戻入額	41,790	30,447
その他	15,854	14,953
営業外収益合計	109,791	86,739
営業外費用		
支払利息	11,806	8,248
売上債権売却損	4,313	6,247
支払手数料	3,187	18,875
デリバティブ評価損	26,532	—
保険解約損	9,677	56,262
その他	3,627	241
営業外費用合計	59,144	89,874
経常利益	411,309	1,048,275
税金等調整前四半期純利益	411,309	1,048,275
法人税、住民税及び事業税	145,497	333,770
法人税等調整額	37,906	40,954
法人税等合計	183,403	374,725
四半期純利益	227,906	673,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,528	9,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,377	663,562

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	227,906	673,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,534	219,415
為替換算調整勘定	△254,383	105,856
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,280	—
その他の包括利益合計	△195,130	325,272
四半期包括利益	32,776	998,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,916	985,206
非支配株主に係る四半期包括利益	3,860	13,615

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	5,198,112	235,332	783,186	892,228	268,934	7,377,794	38,273	7,416,068
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	487,821	80	7,653	638,039	108,410	1,242,004	76,052	1,318,057
計	5,685,933	235,412	790,840	1,530,268	377,344	8,619,799	114,326	8,734,125
セグメント利益 又は損失(△)	462,071	△162,221	△46,678	318,634	△23,604	548,202	50,201	598,404

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	548,202
「その他」の区分の利益	50,201
セグメント間取引消去等(注)	△187,094
四半期連結損益計算書の経常利益	411,309

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が147,598千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	5,697,357	458,956	810,771	852,222	385,150	8,204,458	56,134	8,260,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	415,778	—	2,365	473,634	165,606	1,057,385	58,921	1,116,306
計	6,113,135	458,956	813,136	1,325,857	550,756	9,261,843	115,055	9,376,899
セグメント利益又は損失(△)	1,205,288	△37,312	△33,615	179,863	5,711	1,319,935	25,549	1,345,484

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,319,935
「その他」の区分の利益	25,549
セグメント間取引消去等(注)	△297,209
四半期連結損益計算書の経常利益	1,048,275

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が334,227千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,680,151	+16.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	899,870	△22.8	日本(国際), 韓国
材料試験機	458,956	+95.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	395,011	△12.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	826,603	+23.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,260,591	+11.4	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (2) 受注状況

## ①受注高

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

区 分	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,016,718	△5.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,044,538	+22.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	532,085	+33.5	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	537,205	△8.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	925,847	+30.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	9,056,394	+4.6	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## ②受注残高

当第3四半期連結累計期間末(平成29年12月31日)

区 分	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,551,817	△13.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,974,729	+6.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	241,616	△18.1	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	716,387	+11.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	125,253	+19.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,609,804	△6.6	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

区 分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,680,152	+16.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	899,870	△22.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	458,956	+95.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	395,010	△12.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	826,603	+23.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,260,592	+11.4	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。